

Thank You

2026年1月



【Mother's Tree Japan Quarterly Report No.19】



皆さま、明けましておめでとうございます。良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は世界的に残酷な戦争や貧困格差問題、自然環境破壊、感染症の再来等多くの暗いニュースがあり、不安が募る年でもありました。しかし、私たちNPO法人Mother's Tree Japan は一日も休むこともなく、明るく、楽しく、元気に一日一日精一杯がんばって活動が続けてまいりました。

おかげさまで、三大事業の究極的な多文化共生社会の実現という遠大な目標も、身の周りで少しずつゆっくりと明るい手ごたえを感じるようになりました。これも多くの方々のご理解とご支援の賜物（たまもの）と心より感謝いたします。皆さまにとってこの1年は、豊かな幸せを少しでも実感していただけるようお祈り申し上げます。



理事長 坪野谷 雅之

直近の具体的活動状況（10月～12月）

1.通常事業順調に運営 事業開始以来、相談・支援件数が延べ1万件を超えました

2020年に事業を開始して以来の相談・支援件数が延べ1万件を超えました。これだけたくさんの外国人ママたちに支援が届いたという嬉しい気持ちが半分と、これだけの人たちが、1つのNPOにこれだけの相談を寄せるほど困っていることを思うと、複雑な心境です。2025年の選挙をめぐり、いわゆる「外国人問題」と呼ばれるものに日本が揺れましたが、私たちがやっていくことは設立当初からずっと変わらず「国籍に関係なく、誰もが安心して赤ちゃんを産んで育てていくことができる社会づくり」と「赤ちゃんを真ん中にした多文化共生社会」です。これからも一步一步、歩みを進めてまいりますので、応援よろしくお願いいたします！

2.助産師・保健師・担当者向けKAKEHASHI事業 オンライン勉強会ムスリム編開催（12／6）

大好評のシリーズ4回目は、ムスリム当事者であり、たくさんの在日ムスリムのサポートをしてくれている当会のメンバー二人にたっぷりお話を聞きました。お申し込みは驚くほどたくさんあったのですが、年の瀬の忙しさや体調不良などで残念ながら当日は25名、アーカイブ視聴19名で44名の参加でしたが本当に深い内容になりました。アーカイブは[こちら](#)からご覧いただけます。→

次回は、「在留資格が不安定なママたちのサポート」を取り上げます。ぜひご参加ください。



アーカイブ

ご感想

ムスリムの方たちの多様性については浅くは知っていましたが、生活している方の言葉で具体的にお話を伺うと、実感を持ってわかりました。とはいえ、まだわかったつもり、なのだと思います。緊急事態になる前に、周囲で理解しておくためにはどうしていくといいのかがジレンマです。

ムスリムの方自身のお話が聞けたので有意義だった。ヒジャブは体の一部であること、和食は好まれないことなど、医療現場の方に知っておいていただきたいことが多かった。ムスリムでも、エジプト、バングラデシュ、サウジアラビア（参加者）と違う国の方のお話が聞けて良かった。

Online
12/6
19:00～
20:30

保健師・助産師・窓口担当者・支援者向け
外国人妊産婦・ママ支援のための
多文化理解セミナー④

ムスリムの教えのどの部分を大切に
支援したい？

女医希望・食べ物…ハラールについて
どうサポートしたい？

宗教理解が苦手な日本人が
気持ちを楽にサポートするには？

Afiyaさん Fadiaさん

当事者目線の外国人妊産婦支援・子育て支援のコツ
～ムスリム編～

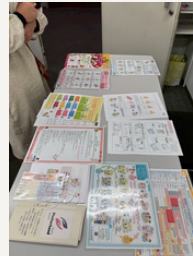
NPO法人Mother's Tree Japan

3.大阪府枚方市の保健師向け勉強会

大阪府枚方市の保健師の皆さま向け研修・ワークショップの講師としてお招きいただきました。枚方市では外国人住民が急増しており、特に最近パキスタンのご家族が増え、文化の違いに戸惑う場面が続いていたとのこと。参加者の皆さんは前のめりに参加され、「在留資格を学ぶ機会がない」「文化の違いをどこまで受け止めればよいのか」「虐待の捉え方の違いに悩む」「家庭訪問の意図が伝わらない」など、現場ならではの率直な声が多く寄せられました。全国の保健師の皆さんに共通する課題であり、私たちも改めて、現場に寄り添った知見やノウハウを共有していきたいと感じています。1～3月にかけて、福岡市、水戸市、京都市右京区、相模原市、潮来エリア、郡山市、小平市、入管横浜支局にて、担当者向け勉強会の講師を務める予定です。現場の皆さんが少しでも支援しやすくなるよう、引き続き取り組んでまいります。

4.久留米市、お母さん大学、KMNと共催での勉強会×日本語クラス 大盛況（10/11、11/19）

久留米市、お母さん大学、Kyushu Motherhood Networkとタッグを組んで、保健師・担当者向けの勉強会×母親サロンの共同開催という形でのKAKEHASHI事業を展開しました。母親サロン3回（毎回11組程度の参加）と勉強会（34名参加）で大盛況となりました。チームを組んで地域でのこうした活動を盛り上げていくことの大切さと効果を実感し、私たちも大変勉強になりました。同じような試みを福岡市、郡山市でも年明けに開催します。こうした輪がどんどん広がっていて、大変嬉しく思っています。



5.東洋大学との共同プロジェクト、未就学児のための日本語クラス第一回目開催！

東洋大学福祉社会デザイン学部子ども支援学科の学生の皆様との共同プロジェクトでの未就学児のための体験型日本語クラスの1回目を開催しました。東洋大学の素敵な保育実習室の中で、中国人親子3組、ミャンマー人親子1組、モンゴル人親子1組、ベトナム人親子1組で賑やかに開催されました。今回は体験しながらオノマトペを覚えていく内容でしたが、学生の皆さんのアイデアと進行でとても充実した会となりました。未就学児の日本語クラスはまだ本当に試みが少なく、全国的に課題になっているため、一つの試みとして充実させていきたいと思っています。次回は1月11日、25日です。



6.区民ひろば長崎での国際交流イベント「ネパール式ベビーマッサージ」（10/26）開催

NPO法人Mother's Tree Japanの看板になってきたザヤさんによるネパール式ベビーマッサージの講座を、今年も区民ひろば長崎からお声がけいただいて開催しました。ベビーマッサージのやり方はもちろん、スパイスを入れた温かいオイルのかおり、音楽、そして、ザヤさんが紹介してくれるネパールの子育て文化に、パパママみんなが興味津々！二人の子育てをした逞しく優しいザヤお母さんに、たくさんの子育ての質問も来て、国境を超えた温かい子育ての場になりました。次回は2月8日に開催です。



千葉県の子育て支援活動「子育ての悩みを共有する会」は、千葉県の子育て支援活動「子育ての悩みを共有する会」の4回シリーズが10月よりスタート。「日本の離乳食を作ってみよう！外国の離乳食について知ろう」（10/9）「赤ちゃんがかかりやすい風邪とその対処について知ろう」（11/11）「赤ちゃんが多言語で遊ぼう」（12/6）の3回ともとても盛況でした！特に3回目は20組以上のお申し込みがあり、日本の子守唄や世界の子守唄を紹介しあったり、手遊びを一緒に楽しんだ後、グループで子育ての悩みなどを共有する、とても賑やかで温かい時間となりました。最終回は「妊婦さん・赤ちゃん連れの防災（1/10）」です。報告会もあるので、是非ご参加下さい。



佐賀での母親サロン



助産師さんに
聞きたいことが
たくさん！



寄り添いサポート



乳腺炎の緊急
オンラインサポート

9.第3回多文化共生子育てフェスティバル「世界赤ちゃん祭り」準備委員会キックオフ

いよいよ、第3回目となる多文化共生子育てフェスティバルの準備委員会がキックオフしました。今回のテーマは「みんなの実家」。安心した妊娠出産、子育てに欠かせない大きな温かい存在。世界の伝統的な実家を紹介しながら21世紀の新しい実家の形を考えます。来場者全員にMother's Tree Japanのオリジナル絵本「りんごの木の下で」をプレゼントする予定です。楽しいプログラムがいっぱい！今からは是非ご予約ください！

【プレス掲載】

- ・『Forbes』の「『ソーシャルR&D』を実践するNPO50」(10月25日発売)
- ・ラジオ「Oh!Happy morning」に出演

【助成決定】

- ・ミダス財団
- ・Black Rock社

ありがとう
ございます



【今後の活動予定】(1-3月)

1. (一財) 自治体国際化協会「外国人保護者のリアルな声から学ぶ日本での出産と子育て」(1/9)
2. 千葉県国際交流センターとの共同での母親サロン最終回と報告会(1/20)
3. 東洋大学との共同プロジェクト (1月11日、25日)
4. 福岡市での勉強会・ミニ多文化共生フェス(1/17)
5. 豊島区民社会福祉協議会CSW事業講演会“多文化共生子育て“って？”(1/30)
6. 各地で外国人母子支援の勉強会(小平市、水戸市、潮来市、郡山市、京都市ほか)
7. 豊島区教育センター主催勉強会 (1/28)
8. 日本国際保健医療学会第 44 回西日本地方会 教育講演(3/21)
9. 多文化共生子育てフェスティバル 世界赤ちゃん祭り (3/29)



事務局より

昨年中も大変お世話になりました。いよいよ新しい年の始まりです。昨年は在住外国人の皆さんとの共生に大きなスポットが当てられ、さまざまな議論が起こりました。その中で、私自身は「では日本人って何をもって日本人と言うのだろう」と考えさせられました。そして、人々の移動こそが歴史そのものであった人類の在り方やそこから照らし合わせた未来などをもう一度勉強し直すきっかけとなりました。私たちの活動は、赤ちゃんという新しい命を真ん中にした多文化共生社会を目指しています。私たちの集まりには、国を超えて悩みを共有し、「この子に無事に育ってほしい」という人類の根源的な願いのもとに集い、世界の子育ての知恵を持ち寄って子育てをする若いママたち、そして、そうした場を陰ながら支えている優しい人たちの人間のGoodnessがぎゅっと詰まっています。色々難しく考えすぎて疲れてしまった時、方向性が見えなくなった時、どうぞ私たちの活動に遊びにいらしてください！きっと進むべき未来、踏み出す先の一步が見えてきます。みなさまとお会いできるのを楽しみにしております。今年もどうぞ応援よろしくお願い申し上げます。